

古河市 IT 戦略プラン（案）に関するパブリックコメントの実施結果と回答について

- (1) 計画案の名称 古河市 IT 戦略プラン（案）
- (2) 実施期間 令和3年12月1日（水曜日）～12月22日（水曜日）
- (3) 閲覧場所
 - ・ IT 戦略課（総和庁舎）・古河庁舎市民総合窓口室（古河庁舎）・三和庁舎市民総合窓口室（三和庁舎）
 - ・福祉推進課（総和福祉センター「健康の駅」）・健康づくり課（古河福祉の森会館）・市ホームページ
- (4) 意見の提出状況 提出人数13名
- (5) ご意見及び回答 次項より一覧にて記載

○対応区分

- A：意見の内容が計画案に含まれているもの
- B：意見を踏まえた修正・対応を検討するもの
- C：意見または要望として承ったもの

- (6) いただきましたご意見につきましては、以下の場合等を除き、原則として原文のまま掲載しております。
 - ・誤字、脱字等と思われるもの
 - ・特定の製品や事業に関する参考URL等が記載されているものなお、掲載順につきましては、受付の日時順としております。

番号	頁	ご意見	対応区分	回答
1	P.41	<p>バス関連</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 路線が分かりづらい。アプリがないのでとても不便。 2. バスがあまりもない。路線によっては午後3時が最後のバス 2-1. 同じ古河市のどこを行こうとしてもバスがないので帰りが心配で行けない。 3. スイカやPASMOなどが利用できない 	C	<p>公共交通に関する利便性の向上については、41ページ「交通手段とサービスの連携による利便性の向上」に記載をしていますが、バスの運行コースや時刻表のオンライン対応については、本計画において「バスロケーションシステムの活用と民間路線バスへの導入」の中で、取り組んでまいります。</p> <p>バスの本数や決済方法等についてのご意見は、公共交通に関する施策において検討すべきご要望として承ります。</p>

番号	頁	ご意見	対応区分	回答
2	全体	<p>恐れながら、内容に”古河市ならでは”という特徴が少ないと感じました。このまま日本どこの地方自治体を持っていってもその計画になるように感じました。わたしは今年（2021年12月）から古河市への非定期の通勤を開始したもので古河市についての知識としては素人、初心者なので、的外れのコメントの可能性高いですが以下のように思いました。</p> <p>「IT化」はお金をかければできる話ですが、魅力ある街でない限り人口が減るばかりです。日本人（学生～会社員～リタイアシニア）、外国人（短期～長期滞在者）を呼びこむうえで新たな産業、ビジネスの誘致は必須かと思えます。東京から通勤して初めて知ったのは古河市の地勢面での特徴です。近隣県や東京からのアクセスの良さ、ユニークさを活かし、大規模なデータセンター、IT開発拠点、ビデオ（CG、VR）スタジオ、IT教育機関、ワーケーション設備、外国人が便利に生活できる住環境整備などへの開発投資をしてはどうでしょうか。BCP対策という点では東京や埼玉から距離的に近すぎますが、新本社拠点、テレワーク拠点、研究開発拠点、外国人人材供給拠点として通勤先、居住地としての位置づけです。東京からの通勤電車が事故で運休、遅れるのもすでに多く経験しているので、途中下車して利用できるビジネスセンター機能もニーズがあるように思えます。東京や大宮よりも拠点開発にかかる投資額は抑えられるのではないのでしょうか。</p> <p>スターバックスやマクドナルドが古河駅前にないと聞きました。一方で自然が近いこと、趣のある街並み、など多くの魅力があると思えます。古河市の良さを消してしまうような開発は不要ですが、もったいないと思えます。</p> <p>IT化と同時に街の魅力を増す開発計画があるとよいと思いました。</p>	C	<p>古河市IT戦略プランでは、目指すべき姿を「DXで変わる、つながる、みんなの古河市」とし、これを実現すべく「IT戦略ビジョン」を定め、取組の指針としています。この「IT戦略ビジョン」において目指す状態として、①「市民の生活が便利になります」②「効率の良い市役所になります」と設定しており、これに基づき本計画において取り組むべき施策の検討を実施したところです。</p> <p>ご意見をいただいた、ITに関する産業、ビジネスの誘致を含めた開発投資・計画についてのご提案については、まちづくりに関する施策のなかで検討すべきご要望として承ります。</p>

番号	頁	ご意見	対応区分	回答
3	P. 37	・住民票や戸籍謄本等を郵送請求する際に、小為替を同封するのではなく、pay-easy や電子決済で支払えるようにしてもらいたい。また、その申請請求自体もネット上でできたらよい。	C	37 ページ「キャッシュレス化の推進」において決済手段の拡大に取り組んでまいります。対象となる費目や決済方法については、運用上の検討・整理を行いながら決定してまいります。また、決済方法と同様に、各種オンライン申請についても、本計画の 26 ページ「オンライン手続きの活用推進」において、課題を整理しながら対象業務を検討してまいります。
	P. 38	・公民館以外にもネーブルパークや総合公園の利用もスマホ等で予約したい。	B	施設予約のオンライン化につきましては、38 ページ「施設予約システム整備・施設利用料のキャッシュレス化」において取り組むべき事項となりますが、公園内施設等の予約についてもオンライン化を目指すことを明記します。
	P. 26	・高齢者の介護に関する手続きなど市外に住む家族がネットワーク上でできるようになったらよい。	A	各種オンライン申請については、本計画の 26 ページ「オンライン手続きの活用推進」において取組を検討します。オンライン手続きの対象となる申請や、申請可能な対象者の範囲については、課題を整理しながら検討してまいります。

番号	頁	ご意見	対応区分	回答
4	P.38	・ネーブルパークの申し込みをインターネットでできるようにしてほしい。	B	施設予約のオンライン化につきましては38ページ「施設予約システム整備・施設利用料のキャッシュレス化」において取り組むべき事項となりますが、公園内施設等の予約についてもオンライン化を目指すことを明記します。
	P.26	・体育館や公民館で行われる講座や利用のネット申し込みができるようにしてほしい。	C	体育館や公民館で行われる講座や利用のオンライン申し込みについては、上記の施設予約の整備と合わせ、オンライン手続きの活用推進に関する事項として今後課題を整理しながら取組を検討いたします。
	P.67	・セキュリティの強化	A	「セキュリティの強化」について、ご要望として承ります。67ページ「情報セキュリティ対策の徹底」において、各種のセキュリティ対策を計画しています。引き続き、情報通信技術を安心して利用できる環境を維持してまいります。
	その他	・ネットでの申請や申し込みの画面をわかりやすいデザインにし、入力作業がやりやすくしてほしい。(今回のアンケートも入力フォームのURLが小さくて分かりづらかった)	C	ご要望として承ります。申請、申込フォームの操作性、視認性については、各システムの導入段階において利用者目線での検討を進めるよう努めてまいります。

番号	頁	ご意見	対応区分	回答
5	全体	すばらしい計画だと思います。あとは、計画に従って実行してください。IT 業界の技術革新は電光石火のごとく早いので、適切な見直しをしてください。	A	本計画の対象期間は5年(2022年度～2026年度)としておりますが、本計画における個別取組は19ページ「取組の進捗管理(推進体制)」に記載のとおり、毎年度の進捗管理を行います。社会情勢の変化にも対応できるよう、適宜、取組の追加、見直し、撤退等の整理を行ってまいります。

番号	頁	ご意見	対応区分	回答
6	全体	どれもすばらしい取り組みと思います。 実行の際には優先事項をつけて、最適な方策を選択し、確実に実現して欲しいです。	A	本計画の各取組は、毎年度の進捗管理を行います。最適かつ実効性の高い取組を推進するため、適宜、取組の追加、見直し、撤退等の整理を行ってまいります。
	P.39	特にプランの中で ①「ITによる市民の利便性向上」No.15「図書館における電子書籍の導入」は実現してほしいと思います。 プラン実行の際は近隣の町も巻き込んで電子書籍のネットワークを構築したらどうかと思います。 なぜかと言いますと、電子書籍のネットワークが広がっていれば 古河図書館にない本が、野木図書館から簡単に借りる事ができるからです。 通常だと、取り寄せし、借りるまで何週間もかかるという事になるかと思っています。 また、探せる本の幅も広がるのではと思います。 しかしながら、紙媒体の本を借りたいという要望も必ずあるはずですので、 従来の方法を残しつつ、電子書籍の導入を行えば導入が進みやすいのではと思います。	A	39 ページ「図書館における電子書籍の導入」について、導入形態および利用者の範囲等は、運用を検討する中で課題を整理しつつ、決定してまいります。

番号	頁	ご意見	対応区分	回答
7	全体 P.36	古河市の IT 戦略を実現するためにまず重要なのはインフラ整備の充実だと思います。即ち国の政策にも関連しますが、例として 5G インフラ、また Wi-Fi 普及などが挙げられます。従ってインフラ整備に積極的に投資する必要があります。	A	<p>インフラ整備に関する事項として、市内公共施設（市庁舎、図書館、体育館、公民館等）への Wi-Fi 導入について 36 ページ「公共 Wi-Fi の設置推進」に記載しております。</p> <p>5G インフラを含めた総合的な整備計画については、ご意見として承り、社会情勢および国の政策（動向）を見極めつつ、実施主体および対応を検討いたします。</p>

番号	頁	ご意見	対応区分	回答
8	全体	<p>全体的に取り組み項目について、どれを優先して行っていくのかわからなかったため、優先順位を記載しておくべきだと思います。</p> <p>IT化する意味があるものは実施していくとよいと思いますが、IT化してもそこまで影響がないものはわざわざIT化する必要はないようにも感じました。</p>	A	<p>本計画では、目指すべき姿を「DXで変わる、つながる、みんなの古河市」とし、「IT戦略ビジョン」を定め、これに基づき優先して推進すべき取組を選定いたしました。このため、選出した取組については、総合的に対応する必要があると考えており、記載については現行どおりといたします。</p>
	P. 26	26-28 ページについて、手続きの待ち時間が短縮できるようになるのはとてもいいと思います。	C	<p>ご要望として承り、具体的な導入形態については課題を整理しながら検討してまいります。</p>
	P. 27	オンラインで事前に申請手続きをし、役所にて手続き書類等の準備が完了した段階で、連絡が入り、		
	P. 28	役場にいき、必要書類を受け取るまたは作業するだけですぐに帰れるような仕組みにするといいと思いました。		
	P. 37	37 ページのキャッシュレス化について、ぐるりん号のバスもキャッシュレスにしていただけると大変助かります。申請手続きよりも公共交通を使用する頻度が多いと思うので、その点も検討をお願いします。	C	<p>当該ページにおける取組は、主として公金の収納に関するものとしております。ご意見については、公共交通に関する施策の中で検討すべきご要望として承ります。</p>
	P. 39	39 ページの図書館電子書籍化について、できたら楽かもしれませんが、そうすることで最終的にどうしたいのかがイメージできませんでした。図書館をなくす方向にすることでその先をどうしたいのかがわかるといいと思います。	C	<p>電子書籍の導入効果（見込）を記載しております。なお、本取組は現行の運用に加えて、新たな書籍貸出の方法を検討するもので、図書館の廃止を検討するものではございません。</p>
	P. 45	45 ページのオンライン授業の実施は対象を具体的に記載ください。新型コロナウイルスの影響で学校もオンライン化が進みましたが、リアルでのつながりがなくデメリットになる点もあるように思います。その点も考慮して具体的な記載があるといいと思います。	C	<p>本取組の対象としては、記載の「小学校3年生以上の全ての児童生徒」を目標としております。オンライン授業の具体的な取組は、臨時休校等の際に学びの保障のために実施するものであり、各学校で実施内容が異なるため、記載内容は現行のとおりとさせていただきます。</p>

番号	頁	ご意見	対応区分	回答
9	P.4	<p>・ 4 ページ</p> <p>取組→取り組みのほうが読みやすいです。</p>	C	<p>本計画における送り仮名は、「公用文における漢字使用」を参考にしつつ記載しておりますが、「取組」の表記については、関連する国の上位計画や通知等に従い記載しているため現行のとおりとさせていただきます。</p>
	P.12	<p>・ 12 ページ</p> <p>2022年から2026年までの計画を、2025年くらいまでに短くできないでしょうか。</p> <p>IT技術の進歩は速いので、2026年にはまた新たな技術が主流になっている可能性もあります。</p> <p>可能な限り、大胆、かつ、スピーディな展開を希望します。</p> <p>過去の慣習に従って5年間としているのであれば、それこそをDXにより加速させることを考えるべきです。</p>	C	<p>本計画の対象期間は国の関連計画の期間も考慮して、5年（2022年度～2026年度）としておりますが、本計画における個別取組は19ページ「取組の進捗管理（推進体制）」に記載のとおり、毎年度の進捗管理を行います。社会情勢の変化にも対応できるよう、適宜、取組の追加、見直し、撤退等の整理を行ってまいりますので、計画期間については現行のとおりとさせていただきます、ご意見として承ります。</p>
	P.27	<p>・ 27 ページ</p> <p>書かない市役所の実現について、紙から画面での入力へ切り替えるだけでなく、そもそもその書類が必要なのか、その項目が必要なのか、といった点についても再検討すべきである。また、利用者と市役所職員のコミュニケーションにおいては、UDトークのような音声を文字に変換するサービスなども併用し利便性の向上につなげる取り組みを期待する。</p> <p>また、画面表示の視認性、ユニバーサルデザインなどの多様性（SDGs）に関しても対応されることが望ましい。</p>	C	<p>本計画の運用にあたっては、18ページ「BPR：Business Process Re-engineering（業務改革）の推進」において、業務分析を実施し、既存の行政事務を積極的に見直しすることとしています。ご提案いただいたようなツールをはじめとした、利便性向上のための取組についてもBPRにおいて検討してまいります。なお、視認性については、各システムの導入段階において利用者目線での検討を進めるよう努めてまいります。参考として本計画の紙面上のフォントはUD（ユニバーサルデザイン）で統一しております。</p>

P.31	<p>・31 ページ</p> <p>ICT を活用した災害時の発信力の強化について、ホームページでのアカウント一覧表の提示を検討してほしい。</p>	A	<p>市ホームページのトップページ(PC サイト)上において、公式 SNS 等のうち速報性の高い一部アカウント(アイコン)を掲出しております。</p>
P.32	<p>・32 ページ</p> <p>スマートフォンを活用した生活インフラの破損箇所報告システムについて、システムを1から構築するのではなく、Fix my street のような既存のシステムを活用することも追記してほしい。なお、Fix my street については、他の自治体での導入実績があるため参考にされたい。</p>	A	<p>スマートフォンを活用した生活インフラの破損箇所報告システムについては、令和3年度現在トライアル運用を行っている既存システムの活用も視野に検討しておりますが、具体的な方針については検討中の為、記載内容は現行のとおりとさせていただきます。ご提案いただいたような、様々なツールの比較検討を行いながら運用を検討いたします。</p>
P.33	<p>・33 ページ</p> <p>オンライン子ども家庭相談システム (DV/児童虐待) について、単に相談窓口を開設しているという情報だけでなく、日ごろの啓蒙、広報活動についても記載してほしい (学校での広報など)。普段から接していないと、いざというときに「ここに相談しよう」という発想に繋がりにくいため。</p>	B	<p>利用・認知度拡大の観点から、ご意見を踏まえてオンライン子ども家庭相談システム (DV/児童虐待) について、定期的に利用の周知を行うことを明記いたします。</p>
P.34	<p>・34 ページ</p> <p>市ホームページの活用推進について、ホームページは以前と比べるととても見やすくなっていると思う。</p> <p>W3C のアクセシビリティ準拠、カラーユニバーサルデザイン (CUD) への対応についても載せてほしい。</p>	C	<p>古河市ウェブサイトでは、日本工業規格 JISX8341-3:2016「高齢者・障害者等配慮設計指針-第3部:ウェブコンテンツ」に対応することを目標としています。また、総務省「みんなの公共サイト運用ガイドライン」に基づき、ウェブアクセシビリティの確保・維持・向上への取り組みについて確認した結果を「ウェブアクセシビリティ取組確認・評価表」として公表しています。記載としては現行のとおりとさせていただきますが、ご提案の規格への対応も含めまして、引き続きアクセシビリティ向上に取り組んでまいります。</p>

	<p>P.35 ・35 ページ</p> <p>移住・定住促進に関する情報発信について、日本人だけでなく外国籍の方の近隣への引越し、定住が増えてきたように思われるので、そのあたりの記述についても追加してもらいたい。</p> <p>どのような国の方が多く、その国の文化がどうなのか、などの紹介ページがあるとよい。</p>	C	<p>本取組では、既存の手法に加えてオンラインでの情報発信を行うことで、交流人口・関係人口の創出・拡大につなげ、移住・定住の促進を目指します。</p> <p>外国籍の方向けの具体的取組につきましては、外国人交流・支援に関する施策の中で検討すべきご要望として承り、本計画の記載としては現行のとおりといたします。</p>
	<p>P.36 ・36 ページ</p> <p>公共 Wi-Fi の設置推進について、公共でのフリーWi-Fi スポットの増加は災害対応の面からも重要だと考えられるので、ぜひとも推進してもらいたい。反面、フリーWi-Fi スポットに若者、学生が長時間にわたり居座ってしまう可能性もあるため、1回の接続で2時間まで、1日3回まで、などのアカウント制限、緊急時は24時間解放するなどの検討について記載してほしい。公共施設については、古河公方公園のジェラテリアのような場所にもあると嬉しい。</p>	A	<p>参考として、令和3年4月より公共フリーWi-Fiを設置している古河東公民館及び地域交流センターは避難所となっております。アカウント制限や緊急時の対応を含めた具体的な運用については、具体的な取組の中で整備しております。今後の導入計画を示すための記載に特化するため、本計画としての記載は現行のとおりといたします。なお、設置個所に関してはご要望として承ります。</p>
	<p>P.37 ・37 ページ</p> <p>キャッシュレス化の推進については、水道料金のような電子決済に対応していないものについても対応を検討するなど具体的な言及について記載してほしい。</p>	C	<p>「キャッシュレス化の推進」について、対象となる費目や決済方法については、運用上の課題について検討・整理を行いながら決定してまいります。ご意見として承り、毎年度の進捗管理において記載内容を再検討いたします。</p>
	<p>P.38 ・38 ページ</p> <p>施設予約システム整備・施設利用料のキャッシュレス化については、既存の民間サービスの利用を検討し、モデルとする施設を選定し先行して実施するなどの迅速な対応を可能となるよう対応する旨を記載してほしい。</p>	C	<p>「施設予約システム整備・施設利用料のキャッシュレス化」につきましては、民間サービスの利用も視野に検討を進めることとなりますが、現状は運用に関する課題を整理する段階であるため、先行導入する施設等も含め、今後の進捗管理の中で見極めてまいります。以上のことから、現時点での本計画としての記載は現行どおりといたします。</p>

	<p>P. 39 ・ 39 ページ 図書館における電子書籍の導入について、対応端末の検討をどのように行うかも記載してほしい。Kindle のみなのか、その他の機器にも対応予定なのか、など。</p> <p>P. 41 ・ 41 ページ 交通手段とサービスの連携による利便性の向上について、BLS の導入は利便性の向上につながるの 良い。根本的な問題として、どうすれば便数を増やせるか?についても DX と絡めて検討してもらい たい。 バスの車内にアンケート用紙が設置されていることがあるが、ホームページでのアンケートも検討 してほしい。 すでに実施済みの場合は、車内でも PR してもらいたい。</p> <p>P. 43 ・ 43 ページ タブレットを利用した被害調査の迅速化について、タブレットだけでなくスマートフォンでの対応 についても検討いただきたい。</p> <p>P. 44 ・ 44 ページ 学校における ICT 環境の整備推進については、学生、生徒、児童のみならず、教職員についても環境 をうまく利用できるようなフォローを検討してほしい。例えば、PC の機能を利用することで資料、 教材の作成時間が短くなれば、その分、はやく帰宅したり、学生らへの対応に時間を使うことができ るため。 現在の教職員で、プログラミングの必修化に立ち向かうことは大変だと思われるため、情報教育への 関心がある地域住民（高校の「情報」の教員免許を持っているような人材）への協力を依頼するとい った民間の活用についても検討していただきたい。</p>	<p>C</p> <p>C</p> <p>B</p> <p>C</p>	<p>具体的な対応端末については、導入するサービ スや運用に関する課題を整理しながら検討してま いりますので、記載内容としては現行のとおりと いたします。</p> <p>バスの運行コースや時刻表について、本計画で は「バスロケーションシステムの活用と民間路線 バスへの導入」の中で、取り組んでまいります。バ スの便数、アンケートの手法等については、公共交 通に関する施策において検討すべきご要望として 承り、記載は現行のとおりといたします。</p> <p>スマートフォンでの利用も可能であるため、説 明文中の記載を「タブレット等」に変更いたしま す。なお、災害時に利用（転用）を想定したタブレ ット端末を整備済であることから、取組名称は現 行のとおりといたします。</p> <p>本取組としては、「平成 30 年度以降の学校にお ける ICT 環境の整備方針」を踏まえた機器の整備 方針についてお示ししているところです。教職員 への利活用支援や外部人材の活用について、今後 も検討してまいります。</p>
--	--	-------------------------------------	--

P. 45	<p>・ 45 ページ</p> <p>オンライン授業の実現について、学校と家庭だけでなく、例えば、長期入院した際を考慮した病院、病室と教室のネットワーク、遠隔ロボット (OriHime) による代理出席についても検討してもらいたい。</p>	C	<p>ご紹介いただいたような様々な事例の検討を含め、社会情勢やニーズ・コスト面を総合的に判断してまいります。ご要望として承り、今後の参考といたします。</p>
P. 46	<p>・ 46 ページ</p> <p>デジタルデバイドの解消に向けてについて、デジタルデバイドの解消は重要な施策であるという意見には同意できる。反面、家庭の事情によっては、PC の購入さえ難しい家庭もあるという話を耳にすることから標準的なスペックの PC の購入補助などについても検討してもらいたい。</p>	C	<p>ご提案として承ります。機器の購入補助については社会情勢やニーズ・コスト面を総合的に判断する必要があるため、まずは「所持しても使いこなせない」高齢者への支援を優先するため、講習会の開催を検討しているところです。</p>
P. 47	<p>・ 47 ページ</p> <p>オープンデータ等の利活用促進について、小学校でのプログラミング、高校での情報科の授業に絡めて、オープンデータを使ったハッカソンなどの実施についても検討いただきたい。</p>	C	<p>オープンデータ等の利活用促進については、まずは官民データの活用推進を当面の目標として記載しております。オープンデータを用いたハッカソンなどの拡張的な取組みについては、ご要望として承り、今後の事業運営の参考とさせていただきます。</p>
P. 50	<p>・ 50 ページ</p> <p>業務自動化の推進について、自動化がすべて、自動化することが目的にならないように留意する旨を記載してほしい。特に、業務の自動化に際しては、ECRS の視点を重視することを併せて記載してほしい。</p>	A	<p>自動化による業務効率化により、定型業務にかかる職員の作業時間が減少することで、職員でしか対応することのできない業務へ注力することを目的の一つとしています。</p> <p>なお、本計画の運用にあたっては、国の関連計画においても「BPR: Business Process Re-engineering (業務改革) の推進」において、業務分析を実施し、既存の行政事務を積極的に見直しすることとしています。ご提案いただいた、業務改善のための取組(視点)についても、BPR に含める形で検討してまいります。本計画の記載としては現行のとおりといたします。</p>

	<p>P.51 ・51 ページ AIを活用した議事録作成支援について、UD トークの活用など既存のサービスの利用を検討することを追記してほしい。</p> <p>P.54 ・54 ページ Web会議システム等の活用推進について、先進的な活動をしている国内外の自治体とコンタクトを取ることにしても検討してほしい。Web 会議は距離的なコストをゼロにできるので有効に活用し、市の職員の皆さんのQoLの向上にも役立つようにしてもらいたい。</p> <p>P.56 ・56 ページ ビジネスチャットツールの活用について、チャットワークのような既存のサービスの利用を検討することを記載してほしい。</p> <p>P.57 ・57 ページ 要援護者に係る情報共有基盤システムの導入について、第三者による「疑い例」の通報、連絡についても対応できると良いと思われるので、そういったシステムの構築を検討する旨を記載してほしい。例えば、「ご近所に最近、一人暮らしになってしまったお年寄りがいるが、見かけなくなった」などを簡単に連絡できるような仕組みがあるとよい。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>C</p>	<p>AIを活用した議事録作成支援について、「AIを活用し、録音したデータを音声解析してテキスト化するツールを導入」する旨を明記しております。なお、導入するツールにつきましては、コスト、実効性、ネットワーク環境との親和性を総合的に比較検討するため、現時点で特定のツール名の記載は行わずに、現行どおりの記載とさせていただきます。</p> <p>Web会議システム等の活用推進に関する運用として、既に国内外との自治体との会議を実施しております。ご意見を今後の取組への参考とさせていただきます、運用の中で活用を拡大してまいります。</p> <p>古河市においては、行政特有のネットワーク（LGWAN）回線との親和性が高いチャットツールを2020年度より導入しています。ご紹介いただいたツールについては、比較検討のご参考とさせていただきます、記載としては現行のとおりとさせていただきます。</p> <p>要援護者に係る情報共有基盤システムの導入については、現状では既存システムである「電子@連絡帳」の運用拡大が効果的であるとして、本計画に記載をしております。 システム構築および機能に関するご提案は、ご意見として承り、今後の比較検討や機能（仕様）面での参考とさせていただきますが、本計画の記載としては現行のとおりとします。</p>
--	--	-------------------------------------	---

	<p>P. 62 ・ 62 ページ 自治体情報システムの標準化・共通化への対応について、現在の予算管理のなかで業務用のパソコンを購入する場合、減価償却などの関連ですぐに使えなくなってしまうようなスペックのパソコンしか購入できないという話を聞いたことがある。そういった枠に捉われないような予算運用で、ある程度の年数が経過しても耐えられるようなスペックの PC が購入できるようなフレームワークについても検討してもらいたい。</p> <p>P. 63 ・ 63 ページ 庁内ネットワークの無線化 (Wi-Fi) の導入検討について、無線 LAN の規格も進化しており、無線でもセキュリティ、通信速度の向上は見られるが、有線の信頼性や通信速度と Wi-Fi のバランスを考慮してもらいたい。また、機器の障害発生時を想定したバックアップのネットワーク (二重構成) などについても言及してもらいたい。</p> <p>P. 67 ・ 67 ページ 情報セキュリティ対策の徹底について、市の職員だけでなく、学校の職員 (特に公立学校) についてもセキュリティ教育が重要だと考えられる。また、それをきっかけに、学生、児童、生徒、保護者についても広まっていくと良いと考える。</p> <p>P. 68 ・ 68 ページ ITリテラシーの向上について、たとえば、IPA の IT パスポートを全職員が合格できるような具体的な目標を記載してもらいたい。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>C</p> <p>C</p>	<p>システムおよび情報機器の適正管理についてのご意見として回答いたします。ページ内に記載のとおり、調達にあたっては、標準的な調達使用の見直しを行い、運用に係る費用や仕様の妥当性を継続的に見直しいたします。予算運用にあたっては、仕様とコストのバランスの検討が必要であることから、記載としては現行のとおりとさせていただきます。</p> <p>庁内ネットワークの無線化 (Wi-Fi) の導入検討について、国のガイドラインにおいて無線化が可能な領域と、認められていない領域が分かれており、実装時には有線との並行運用となることが予想されます。有線・無線のメリット、デメリットを比較しつつ、運用を検討してまいります。なお、障害を想定した機器構成については、本項における推進項目に主を置くため、記載としては現行のとおりとさせていただきます。</p> <p>情報セキュリティ対策の徹底について、学校におけるセキュリティも重要であると認識しております。また、学校におけるセキュリティ教育については、引き続き計画的に実施していきます。</p> <p>ご意見として承ります。各職員の配属先における業務に必要な知識・スキルを総合的に判断して研修計画を実施いたします。本計画における記載としては、現行のとおりとさせていただきます。</p>
--	--	-------------------------------------	--

	<p>P.69 ・69 ページ</p> <p>民間企業等との連携強化について、ぜひとも推進してもらいたいです。</p> <p>市役所（行政）の IT に関する困りごとを、民間と協力して乗り越えていけるような関係が構築できると良い。</p>	A	<p>ご意見を参考とさせていただき、関連事業を推進してまいります。</p>
--	---	---	---------------------------------------

番号	頁	ご意見	対応区分	回答
10	P. 36	<p>・古河市で「IBARAKI FREE Wi-Fi」に登録されているところが1箇所しかない。他の市町では公共の施設などにも設置されているようですが、古河市は1箇所も登録されていません。</p> <p>もっと街全体でIT化を進めていただきたいです。</p>	A	<p>市内公共施設（市庁舎、図書館、体育館、公民館等）へのWi-Fi導入について36ページ「公共Wi-Fiの設置推進」に記載しております。古河市では令和3年4月より古河東公民館（古河図書館）、地域交流センター（はなももプラザ）、古河篆刻美術館、駅前子育て広場の4か所にて公共フリーWi-Fiを設置しております。公共施設へのフリーWi-Fi設置については、古河ケーブルテレビ（株）と地域広帯域無線アクセスシステムの活用に関する協定を結び、共同で整備を進めています。また、令和4年度の開始に向けて、ユースセンター総和、古河文学館、古河庁舎の3か所にて公共フリーWi-Fiの設置を進めております。今後は、基地局整備、電波の状況等を勘案しながら、総和地区や三和地区の公共施設への設置も順次検討してまいります。なお、「IBARAKI FREE Wi-Fi」については訪日外国人客を主な対象とした取組であることから、上記事業での登録は行っていません。</p>
	全体	<p>・資料は受け身に感じられます。古河市がどうなりたいのか、古河市の最終目標などがわかるようにしていただきたいです。</p>	A	<p>14ページに記載しております全体方針につきまして、古河市IT戦略プランでは、目指すべき姿を「DXで変わる、つながる、みんなの古河市」とし、これを実現すべく「IT戦略ビジョン」を定め、取組の指針とし、これに基づき本計画において取り組むべき施策の検討を実施したところからです。このことから、計画への記載・反映については現行のとおりとさせていただきます。</p>

番号	頁	ご意見	対応区分	回答
11	P.15	<p>施策を1. 市民の利便性向上、2. 行政運営の効率化、3. 管理の最適化、4. ガバナンス強化の4つに分類されていますが、総花的に同時並行で進行していくような印象を受けるため、実現可能性に疑問を覚えます。それぞれをどのようなタイムラインで進行させることによって、目標実現が可能になるのかの戦略を示していただきたいです。</p>	A	<p>15 ページ 全体方針（4つの重点施策）1. ITによる市民の利便性向上、2. ITによる行政運営の効率化、3. IT管理の最適化、4. ITガバナンスの強化 については、一つとして欠けることなく同時に並行して進行する必要があると考えます。</p> <p>古河市 IT 戦略プランでは、目指すべき姿を「DXで変わる、つながる、みんなの古河市」とし、これを実現すべく「IT戦略ビジョン」を定め、これに基づき本計画において推進すべき取組の選定を実施しました。個別の取組ごとにスケジュールを設定しておりますので、具体的な対応については毎年度の進捗管理において管理してまいります。</p>

番号	頁	ご意見	対応区分	回答
12	P.71 ～	『用語集』について IT が苦手な人は、横文字（アルファベット）が特に苦手です。用語がわからず、説明書や取説、解説等、何を言っているのか、理解できないことが多いです。その為、用語に関しては、用語にアレルギーを起こさないよう、色をつけたり、イラストを使ったり、親しみのある文字にしていだけると、より興味を持っていただけるかと思いました。	A	<p>ご意見として承ります。御覧をいただきましたとおり、本編につきましては、ご説明に色・イラスト等を活用しております。ご意見をいただきました「用語集」については、本編の理解を促進するための巻末添付資料であることから、現在の構成となっております。なお、参考として本計画の紙面上のフォントは UD（ユニバーサルデザイン）で統一しております。</p> <p>※UD（ユニバーサルデザイン）フォント： 目の不自由な人も含め、より多くの人を読みやすく、誤読されにくいように考慮した書体のこと。</p>

番号	頁	ご意見	対応区分	回答
13	全体	本編だけで70頁近くあり、内容を読み込み・理解するのに相応の時間を要する。前提としてITスキルも必要であり、別添で本資料の概要書（市民誰もがわかりやすい簡易的な内容）があると理解が早いと思われる。正式リリース時までには対応いただきたい。	B	古河市IT戦略プラン（概要）の作成を検討いたします。
	P.18	「BPR: Business Process Re-engineering（業務改革）」の説明が冗長（見出し、本文内）。見出しで説明しており、本文および以降の説明は不要。	B	「BPR: Business Process Re-engineering（業務改革）」について、本文中での説明を削除します。
	P.41	交通手段とサービスの連携によるサービスの向上： ・効果 > 「バスに関する問合せの減」→「バスに関する問合せの減少」へ修正すべき。	B	「バスに関する問合せの減」→「バスに関する問合せの減少」へ修正いたします。
	P.50	業務自動化の推進：当初はRPAによるロボット化を進めると読み取れるが、すぐに新システムへの移行が計画されている。それは何故か？野良ロボが増えるだけではないか？デジタルレイバーを作りたい？目指すところがよくわからない。RPAの導入・運用にはかなりのコストがかかるため、このような短期の運用でかかるコスト以上のリターン（費用対効果）が十分見込めるのか甚だ疑問。	C	当該ページ内に記載のとおり、自動化による業務効率化により、定型業務にかかる職員の作業時間が減少することで、職員でしか対応することのできない業務へ注力することを目的の一つとしています。 お見込みのとおり、自治体情報システムの標準化・共通化の実装により、作成したデジタルレイバーの一定数は2025年度に使用できなくなりますが、自動化の対象とする（2025年度までに発生する）定型業務の量と、運用に関するコストを比較しても非常に有用な取組であると考えます。

	<p>P. 64 セキュアプリントの導入：見出し「印刷物の取り忘れ防止のための～」は、印刷物の取り忘れは要因の一つであって、導入検討の目的として視点が違うのではないかと？</p> <p>印刷物を取り忘れること（人為ミス）で、別の人により不正に持ち出しされたりして情報漏えいしてしまう可能性があり、それを防止したいということであれば、「情報漏えい防止のための～」、「人為ミス防止のための～」等の文言が適切である。</p> <p>また、導入時期が2025年度となっており、遅すぎの感が否めない。まずはスモールスタートで進められないのか？すべてのプリンタで導入する必要はなく、個人情報関連の資料を印刷できる機種を限定する等で早期の導入は可能なのではないかと？</p> <p>予算の関係もあるかと思うが、職員のセキュリティ意識が高ければ早期導入に異論を唱える人はいないはず。既にやっているということが市民に伝われば、セキュリティに関して安心に繋がる。（今の状況ではセキュリティ対策が大変不安である）</p> <p>セキュリティインシデントによるコストは、それを防ぐコストよりも膨大なものになることを理解していただきたい。また、セキュリティインシデントを絶対に起こさないという姿勢で対策を行っていただくことを切に望む。</p> <p>P. 67 情報セキュリティ対策の徹底：情報セキュリティインシデント発生が現状で0件であるということは、これまでに発生時の対応を一度も実施経験していないことになるが、対応のための訓練は毎年実施しているのか。実施しているのであれば、その旨記載していただきたい。</p> <p>また、インシデント発生時のBCPについては別途定義される（されている）との認識でよいか？</p>	<p>B</p> <p>B</p>	<p>・ご意見を踏まえ、見出しを「印刷物の取り忘れ防止のためのセキュアプリント導入検討」から「情報漏えい防止のためのセキュアプリント導入検討」に修正いたします。</p> <p>また、ご意見にあるように実施の際は、まずスモールスタートによる実証を行ったうえで導入することが考えられます。ご意見を踏まえ、「実証実験（スモールスタート）」による検証を行う旨を追記いたします。</p> <p>関係機構の実施する実践型対応演習等に例年の参加を行っています。いただいたご意見を踏まえ、研修の受講、実践型の演習を例年実施している旨を記載いたします。インシデント発生時の対応については、古河市CSIRTにおける関連計画、マニュアルにおいて明記しておりますが、設置規定以外の外部への公開は行っていません。</p>
--	---	-------------------	---

	<p>P. 76 ～ 市民アンケート結果について：そもそも IT に関心がある人、インターネットを活用している人がオンラインで回答したものが大多数と思われる。そのため IT 推進に積極的な意見が集まるのは想定範囲であり、IT 化に無関心・批判的な人の意見を聞いてみたいと感じた。(それらから推進のヒントを見出して欲しい)</p> <p>「情報の入手方法、手続き・相談・問い合わせ方法などについて」では、「知る方法がない」といった回答があり、このような人が IT 化によってどのように救えるのかを考えて欲しい。IT 化推進には大いに賛成だが、デジタルに疎い方々の情報格差が広がらないための手段を講じていただきたい。</p> <p><その他指摘></p> <p>その他 ・ P. 11、P. 12 のみ本文の先頭に空行があり、他頁と体裁があっていない → 体裁は合わせるべき。</p> <p>その他 ・ 頁によって単語等、英数字の全半角が統一されていない → 全体的に見直すべき。</p> <p>その他 ・ 「～等」、「～など」の表記不統一がある → 「～等」に統一すべき。</p>	<p>C 市民アンケートにつきましては、お見込みのとおり、オンライン限定といった実施方法について課題が残ったことは当市としても認識しております。一方で、高齢の方の回答が極端に少なかったこと自体が、IT に関する世代ごとの認識度を端的に表しているともいえますので、高齢の方をはじめとした、より多くの皆さまにサービスが行き渡るよう、46 ページ「デジタルデバイドの解消に向けて」における取組とあわせて、いただいたご意見を今後の事業実施に反映させていただきます。</p> <p>B P. 11、P. 12 の本文の空行について、行間を調整いたします。</p> <p>B 特定の単語について、全半角の統一がされていないものについて修正いたします。なお、桁数の少ない数字など、全角にすることで見やすさが向上する表記については現行どおりとします。</p> <p>B ・ 本計画における「～等」、「～など」については、名詞の接尾語として、「とう」とお読みいただくべき箇所については「～等」を、文中においては、読み手に硬い印象を与えないよう、極力「～など」を使用して使い分けをしております。ご意見を踏まえ、「～等」、「～など」の使い分けにおいて上記の表記に統一されていない箇所について確認・修正を行います。本計画における全体の表記統一については上記のとおりとさせていただきます。</p>
--	---	---